

はじめに

平成 15・16・17 (2003-05) 年度文部科学省科学研究費補助金(基盤研究 B)による調査研究『日米豪の留学交流戦略の実態分析と中国の動向』(研究代表者 横田雅弘)において、今年度まで次のような調査研究とその成果発表を行ってきた。

まず平成 17 (2005) 年 3 月には、米国・豪州・アジア諸国におけるインタビュー記録を中間報告『アジア太平洋諸国の留学生受け入れ政策と中国の動向』として刊行した。この中間報告書はホームページに全文を掲載しているのでご覧いただきたい。アドレスは次のとおりである。<http://www.george24.com/~yoko39/publications.htm>

研究成果の発表としては、平成 17 (2005) 年 5 月の異文化間教育学会年次大会のポスターセッション(横田・白土・坪井・工藤)、同年 7 月の JAFSA(国際教育交流協議会)サマーセミナーにおける基調講演(横田・坪井・白土・太田・工藤)、平成 18 (2006) 年 3 月のハワイにおける CIES (全米比較・国際教育学会) の年次大会発表(横田・坪井・白土・太田・工藤)、同年 5 月の中央教育審議会大学分科会での参考意見発表(横田)、同年 8 月の JAFSA (国際教育交流協議会) サマーセミナーにおける分科会「岐路に立つ日本の留学生政策と大学の効果的な施策を考える」(横田・白土)などを行ってきた。

さて、最終年度の研究事業として、前年度までの米国・豪州・アジア調査の結果を踏まえ、日本の留学政策の現状と可能性を探ることとし、全国四年制大学への質問紙調査ならびに国際化への取り組みで特色ある大学のインタビュー調査を実施した。本報告書はその結果をまとめたものである。

質問紙調査では、多くの設問にもかかわらず 50.5%という驚異的な回収率を得ることができた。この場を借りてご回答くださった関係者の方々に心より感謝申し上げたい。また、回収に時間を要したこと等のために、報告書の完成が 10 月にずれ込んでしまったことをお詫びしたい。私たちは調査結果に対する考察がまだ不十分であると思っているが、第一義的な目的である基本的なデータを提供するために、本報告書を刊行することにした。今後、このデータをもとに更なる分析を加えて発表していきたいと考えている。

本報告書は科研メンバーである横田雅弘・坪井健・白土悟・太田浩のほかに、研究協力者の工藤和宏の 5 名で執筆分担し、そのドラフトに全員でコメントする形で完成させた。基本的な分担は次のとおりである。第 1 章 調査の概要：坪井、第 2 章 国際化に関する大学の対応：横田、第 3 章 外国人留学生の受け入れ：太田・白土・坪井、第 4 章 海外留学(送り出し)：白土、第 5 章 日本の大学国際化の傾向と課題：工藤、第 6 章 大学国際化の個別性——国際交流担当執行部への面接調査：工藤、第 7 章 アジア太平洋諸国の留学生政策と日本の国際化対応：横田、太田。

激動するアジア太平洋諸国の留学政策、そして岐路に立つ日本の留学政策の把握と展望を得るためにご活用いただければ幸いである。

2006 年 9 月 20 日

研究代表者

一橋大学留学生センター 横田 雅弘

執筆者紹介

研究代表者

横田 雅弘 (よこた まさひろ)

一橋大学留学生センター教授、JAFSA (国際教育交流協議会) 副会長、異文化間教育学会常任理事

専門分野 異文化間教育学、異文化間カウンセリング、留学生研究

主要業績 『留学生アドバイザー～学習・生活・心理をいかに支援するか～』(白土悟と共著、ナカニシヤ出版、2004)、「留学生と日本人学生の親密化に関する研究」『異文化間教育』(5号、1991年)

m.yokota@srv.cc.hit-u.ac.jp

研究分担者

坪井 健 (つばい つよし)

駒澤大学文学部教授、国際アジア文化学会理事、日中社会学会理事、異文化間教育学会編集委員

専門分野 社会学、社会心理学、**学生文化の国際比較研究、留学生研究**

主要業績 「在日中国人留学生の動向と今後の課題—日本と中国の留学生政策を背景にして—」『駒澤社会学研究』(38号、2006年)、「アジア学生文化の比較研究」『駒澤社会学研究』(34号、2002年)、「留学生と日本人学生の交流教育」『異文化間教育』(13号、1999年)、「国際化と日本の学生」『日本人と国際化』(人間の科学社、1999年)、『国際化時代の日本の学生』(学文社、1994年)

tsuboi@komazawa-u.ac.jp

白土 悟 (しらつち さとみ)

九州大学留学生センター助教授、JAFSA (国際教育交流協議会) 理事、異文化間教育学会理事

専門分野 留学生教育論、中国現代教育研究、文化人類学

主要業績 「フルブライト・プログラムに学ぶ」(坪井健、横田雅弘と共著)『21世紀の国際知的交流と日本』(中央公論新社、2002年)、「異文化間教育としての留学生アドバイザー」『異文化間教育』(13号、1999年)、『中国と日本の留学交流』(編著)(アルク、1999年)

satomi@isc.kyushu-u.ac.jp

太田 浩 (おおた ひろし)

一橋大学商学研究科専任講師、日本学術振興会大学国際化支援本部調査研究アドバイザー

専門分野 比較・国際教育学、留学生教育論、高等教育論

主要業績 「国際協力における大学とわが国援助機関との連携」『これからの大学等研究施設(第3篇環境科学編)』(文教施設協会、2006年)、「日本留学試験の政策的考察」『国際教育』(10号、2004年)、「The International Student 100,000 Plan (policy studies),” *Center for Student Exchange Journal* (Vol. 6, 2003年)

h.ota@srv.cc.hit-u.ac.jp

研究協力者

工藤 和宏 (くどう かずひろ)

獨協大学外国語学部専任講師

専門分野 コミュニケーション学、異文化間教育学

主要業績 “Doing fieldwork in Japan,” *Qualitative Research Journal* (Vol. 5, 2005年)、“Intercultural friendship formation,” *Journal of Intercultural Studies* (Vol. 24, 2003年)、「友人ネットワークの機能モデル再考」『異文化間教育』(18号、2003年)、「異文化友情形成におけるコミュニケーション能力」『ヒューマン・コミュニケーション研究』(31号、2003年)

k03040@dokkyo.ac.jp